

私の探鳥地（54）（野鳥だより 150号 2007年12月）

のっほろがわ
野津幌川下流域（札幌市厚別区）

早坂泰夫

私の住んでいる厚別区の地域では、代表的な探鳥地として「野幌森林公園」があります。休日などのゆったりした時などは出かけるには最適な場所です。今回紹介する場所は、「探鳥地」というほどの場所ではありませんが、私の家のすぐ近く、朝夕に野鳥の声を聞いたり、手軽にウォッチング出来る所です。会員の皆さんも家の近くにちょっとした鳥見が出来る場所をお持ちだと思います。そんな場所のひとつです。一回りして、1時間、2時間程度の広さの場所ですが、四季折々の鳥たちの姿を見るのがいつの間にか楽しみになりました。



野津幌川下流域

春、晴れ上がった日のヒバリのさえずり、5月下旬に聞こえるカッコウのさえずりと、オオジシギの羽音、その後、日増しに聞こえる夏鳥の声、冬場に見られるカラ類を中心とした冬鳥たち。春や秋には、白鳥の群れが、数羽、時には数十羽上空を通過しているのを見ることがあります。

札幌の中心部から東に10kmほど離れた地域、江別市大麻のとなり、山本、小野幌、厚別北地域の野津幌川の下流域が主なエリアです。探鳥地と言っても、住宅地を流れている野津幌川、小野津幌川沿いの地域ですが、この地域は、ちょうど良い草原の環境が維持されていて、夏鳥の繁殖地になっています。また、冬季にはカラ類、ツグミ、レンジャク類、ムクドリなどが見られます。

10年ほど前、中学校建設に伴い、草原が少なくなってしまう、ノビタキやオオジュリン、コヨシキリなどが減少してきているのが気になります。

大きな探鳥地だけではなく、身近で小さな探鳥地も残していく必要性を近年特に感じています。会員の皆さんと情報を交換しながら大事にしていきたいものです。

<確認している野鳥>

アオサギ、トビ、ハイタカ、コガモ、マガモ、キンクロハジロ、コウライキジ、オオジシギ、キジバト、カッコウ、コゲラ、アカゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、キレンジヤク、ヒレンジヤク、ミソサザイ、ノビタキ、アカハラ、ツグミ、ウグイス、ヤブサメ、エゾセンニュウ、コヨシキリ、クイタダキ、コサメビタキ、ハシブトガラ、ヒガラ、シジュウカラ、ヤマガラ、ホオアカ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、シメ、ニュウナイスズメ、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

そのほか、キタキツネ、エゾシカなどの動物も見ることが出来ました。